

2010「神戈陵のつどい」 鹿児島同窓会開催される



平成 22 年 7 月 24 日(土) 18:00~20:30, ジェイドガーデンパレスに於いて鹿児島同窓会「神戈陵のつどい」が開催された。会に先立ってまず全員で亡師・亡友への黙禱を行った後、当番幹事を代表して前川辺高校の校長であった田中義博（s 42 年卒）氏が「来てよかった」「また来年も」というような会にしたいと言う主旨の開会の言葉を発して会が始まった。椎原耕（s 26 年卒）鹿児島同窓会会長が、毎年このようにして無事に会える喜びを旨とした歓迎の挨拶をした。祝辞は東襄（s 28 年卒）川辺同窓会顧問が募金のお願いと 11 月 13 日（土）の記念式等への出席を呼びかけ、神田芳文川辺高校校長が学校の現状報告と本日の会への招待に対するお礼を述べた。同窓会活動については長野守雄（s 42 年卒）が同窓会報、110 周年記念式典等案内状そして南日本新聞広告等について説明した。黒松武藏（s 38 年卒）監事より収支決算の説明があり、満場一致で承認された。寺師慶志（s 41 年卒）事務局長からは、連絡不明者の再度のお願いがあり、第 1 部の総会は終了した。

栢元陽子さんと西田加奈子さんによるなぎなたの演武があり、野添悦子（s 30 年卒）副会長による乾杯の音頭で第 2 部の懇親会が始まった。乾杯後、s 42 年卒の出し物として「川辺ブルース」を歌う辰野友泉さんによる歌謡ショーがあり、最後に s 42 年卒 9 名による「高校三年生」と「青い山脈」の合唱があった。若い人たちの声を聞くということで、柳誠子（s 54 年卒）、松山正樹（H12 年卒）、永吉隆信（H17 年卒）さんの 3 名に本日のつどいの感想等を壇上で述べてもらった。圧巻は 3 回に分けての校歌斉唱であった。まず旧制中校歌があり、新校歌は s 41 年卒までの人たちと s 42 年卒後の人たちに分かれて 2 回の斉唱となった。溝口逸王（s 30 年卒）幹事長の万歳三唱に引き続き、当番幹事の田中義博氏より本日の会は初期の目的を達成した会であった、「また来年再会しましょう」と結んでいた

いた。 (文責：長野守雄)

2010年07月25日 登録